

2025 年 5 月 吉日

立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター 教員公募要項

教育開発・学修支援センター長
カッティング 美紀

この度、立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センターでは下記のとおり教員を募集します。以下の内容をご確認のうえ、ご応募いただきますようお願い致します。

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）は、約 100 カ国・地域からの学生が集い、ダイバーシティとインクルージョンの推進のもと、世界を変える人材の輩出と社会的インパクトを与える教育を目指しています。英国教育専門誌 THE（タイムズハイヤーエデュケーション）による THE 日本大学ランキング 2024 では、「国際性」全国 2 位、「教育充実度」は 4 年連続で全国 3 位の評価を受けている日本でも稀な多国籍大学です。

世界中の学生や教員が集まる国際環境と多様性をいかし、社会課題解決につながる新たな教育への意欲がある方に、ぜひご応募頂きたく存じます。若手や女性の活躍も期待しております。関係各位へのご周知とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

募集分野	異文化理解・国際教育分野
研究分野	大分類：社会科学 小分類：異文化間教育 大分類：社会科学 小分類：国際教育
職務内容	本学の教育開発・学修支援センターにおいて、多文化間教育、異文化理解教育の開発と提供を行う。文部科学省のソーシャルインパクト創出事業に関わり、本学の多文化共修の外部提供も担当する。また、教育開発・学修支援センターにおける初年次教育科目、グローバルリーダー教育科目、異文化コミュニケーション科目などの教育開発・提供も行う。 (1) 異文化間教育、多文化共修、異文化コミュニケーション等に関連する科目開発と提供 (2) 多文化間教育の外部提供、海外プログラムの担当や留学支援 (3) 初年次科目、グローバルリーダーシップ科目の担当、ピアリーダー育成 (4) 上記 (3) のいずれかにおけるコーディネーター業務 教育開発・学修支援センターは、「教育の質向上に向けた教育開発および改善を通じて、大学全体の教育の充実および高度化を推進する」全学組織です。そのため、知識や経験を考慮して、キャリア教育、学修アドバイジング、FD 開発・実施、教学 IR、学外への教育提供などの職務を担当することがあります。
募集職種	雇用種別：任期制教員 職位：助教 ※本学では、博士取得後の期間が短い、もしくは博士取得直前の方を教員として雇用し、育てる職位として助教制度を運用しています。助教任用後、教育・研究等の実績などについて学内審査を行います。審査の結果、学内規程による審査基準を満たした場合には、任期制准教授へ昇任されます。この任期制准教授にはテニュア・トラック制度が適用されますので、下記【テニュア・トラック制度】に則りテニュア教員への職種変更が可能です。

テニユア・トラック制度について	本学では、テニユア・トラック制度により採用された任期制教員を対象に、任用後 3 年目をめどに、教育・研究・大学行政等の実績などについて学内審査を行います。審査の結果、学内規程による審査基準を満たした場合には、任期を定めず定年まで雇用する職種への職種変更のうえ再雇用を行うものです。
担当科目	① 担当する科目の言語 日本語及び英語、または英語で授業ができることが望ましい。 ② 担当科目について 異文化間教育・多文化共修の開発や外部提供、グローバル教育、初年次教育、リーダーシップ教育などを担当していただきます。国際社会の教育動向を見据えた先駆的な教育実践力、コンピテンシーベースの教育、それらを学内・外に実践提供できるスキルを有し、日本語及び英語、または英語で授業ができることが望ましい。 ※ 知識や経験を考慮して、上記科目以外にも担当して頂くことがあります。
募集人数	1 名
着任時期	2026 年 4 月 1 日
応募資格	以下を全て満たし、上記の着任時期より勤務可能な方 (1) 博士号取得者、もしくは既に博士課程のコースワークを終えており、着任時から 3 年以内に博士号取得見込みの方。 (2) 国際教育と異文化理解、課題解決型教育、教育学、リーダー育成、FD/SD、キャリア教育、コンピテンシーベースの教育開発、学生支援など、APU での教育開発・実践・研究に高い関心または経験を有する。 ※日本語及び英語、または英語で授業ができることが望ましい。
期待される資質	● 立命館アジア太平洋大学の理念、基本目標および特徴に賛同し、本学での教育に熱意を持っている者。 ● 専門分野：異文化間教育、異文化理解、異文化コミュニケーション、多文化共修などにおける専門的な学識を有すること。 ● 留学生交流、海外プログラム、国際教育における教授法や学習評価測定などの経験 ● 日本語および英語、または英語で教育ができる言語能力を有する者が望ましい ● 国籍は問わない。
雇用契約期間	任期制教員：5 年間 ※雇用する年齢の上限は 65 歳となります。
所属勤務地	教育開発・学修支援センター 大分県別府市十文字原 1-1 立命館アジア太平洋大学
担当授業時間	助教：通年平均 4 授業時間（1 授業時間は 100 分）
給与・社会保険等	「立命館アジア太平洋大学 雇用条件（処遇）について」をご覧ください。
応募締切日	2025 年 8 月 27 日（水）（日本時間） ※JREC-IN 上での WEB 応募

提出書類	① 個人調書・教育研究業績書【所定様式 1】 Microsoft Word データで提出すること。 ② 主要教育・研究プロジェクト等実績書【所定様式 2】 Microsoft Word データで提出すること。 ③ 言語能力申告書【所定様式 3】 Microsoft Excel データで提出すること。 ④ 担当可能科目リスト【所定様式 4】 Microsoft Excel データで提出すること。 ⑤ 志望理由書【所定様式 5】 （「立命館アジア太平洋大学への抱負」等について） Microsoft Word データで提出すること。 ⑥ 主要な業績（著書または論文）計 3 点の PDF データ 主要な業績が 3 点に満たない場合は 2 点以下でも可。ABD は論文計画書も主要な業績に含めます。 ⑦ 上記⑥の概要【所定様式 6】 日本語の場合は各 400 字以内、英語の場合は各 A4 用紙 1 枚以内とすること。 Microsoft Word データで提出すること。 ⑧ 推薦状 2 通【様式自由】 推薦状には、本人と推薦者との関係を明記すること。なお、推薦者に以下のメールアドレスに推薦状を送信するようお願いをしてください。推薦者から直接送信された推薦状のみ受け付けます。 E-mail : edlsc-ap@apu.ac.jp メール件名は「EDLSC（異文化理解・国際教育）」としてください。 応募締切後の提出は受け付けません。 ⑨ 最終学歴の証明書の PDF データ（学位記の写しでも可） ABD の場合は、ABD であることを証明できるもの ⑩ 提出書類確認票【所定様式 7】 Microsoft Excel データで提出すること <注意> ※ 所定様式は、JREC-IN 本学公募ページからダウンロードいただけます。 ※ 上記①②⑤については、英語または日英両言語で作成し、提出すること。 ※ 提出する全てのファイルのファイル名の先頭に提出書類番号と[氏名]を付けること。 ※ 審査過程で、必要な場合、業績の追加的提出を求めることがあります。 ※ 応募においてご提供いただいた個人情報、本学の規程に従って適切に管理し、採用選考以外の目的には使用いたしません。
提出方法	JREC-IN を通じての WEB 応募になります。 ① 各応募書類のファイル名の先頭に提出書類番号と[氏名]を付けてください。 （例）1. [SATO Hanako]Form1-EN.docx ② 上記⑧以外の応募書類をひとつのフォルダにまとめて圧縮【圧縮：Zip 形式／データ容量上限：30MB】 ③ 圧縮フォルダのタイトルはローマ字氏名（半角英数）にしてください。 （例）SATHanako.zip ④ JREC-IN Portal から WEB 応募してください。 ▼JREC-IN Portal URL https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D125050577&ln=0

	※JREC-IN Portal から応募できない場合、データ容量（上限 30MB）オーバー、もしくは圧縮フォルダタイトルに使用禁止文字を使っていることが疑われます。データ容量は 30MB 以下、圧縮フォルダタイトルは半角英数記号を使用しているかご確認のうえご応募ください。
選考方法	① 書類選考 ② 面接審査（※研究についてのプレゼンテーション、および面接担当者を学生に見立てた模擬講義を英語または日英両言語で行って頂きます。） ※採否については 2025 年 12 月上旬にメールにて通知します。
問い合わせ先	立命館アジア太平洋大学 アカデミック・オフィス E-mail : frecruit@apu.ac.jp メール件名は「EDLSC（異文化理解・国際教育分野）」としてください。
その他	・立命館アジア太平洋大学は、キャンパス全面禁煙となっております。喫煙スペースは学内に設けておりません。 ・本学は教員の多様性を重視しており、様々な経歴や背景を持った方からの応募をお待ちしております。 ・採用決定後、本学所定の書式による健康診断を受けていただく必要があります。

以上

立命館アジア太平洋大学 雇用条件(処遇)について

1. 教員の給与

*2024年実績に基づく。各規程は今後変更となる場合があります。

(1) 給与

給与は各職位の給与規程の定めにより支給されます。

(参考例)

下記は2024年度在籍教員の実績金額(各種諸手当含む)であり、保証されるものではありません。
(年齢は2024年4月現在)

- ・助 教:(37歳、扶養家族なし) 約710万
- ・特任講師:(39歳、配偶者・中学生の子1名、小学生の子1名) 約840万、(54歳、扶養家族なし) 約870万
- ・准 教授:(42歳、扶養家族なし) 約1,100万、(52歳、配偶者、大学生の子1名) 約1,200万
- ・教 授:(51歳、配偶者あり) 約1,380万、(62歳、配偶者あり) 約1,390万

※特別招聘教員の給与は、雇用契約書に基づき支給額決定します。

(2) 赴任時の手当等処遇

- ① 赴任手当(国外からの赴任は50万円、国内からの赴任は30万円(*))の支給
(*ただし、赴任前の住居の最寄り公共交通機関から転居先の住居の最寄り公共交通機関までの距離が80km以上の場合)
- ② 本人および扶養家族の赴任旅費(実費)の支給

2. 福利厚生

*2024年度実績に基づく。各制度は今後変更となる場合があります。

- (1) 住居(借上住宅)の提供(教授、准教授、特任講師、任期制教員対象、特別招聘教員は雇用契約書にて定める)

学校法人立命館が借り上げた住居を、関連企業を通じて提供します。

- ① 大学の関連企業が住居探しのサポートを行います。
(物件の情報提供、希望物件への見学の同行、賃貸契約締結、入居する物件の電気・ガス・水道手続のサポート)
- ② 初回入居時の初期費用(敷金および礼金)は大学が負担します。
※ただし原則1回のみ。次回の転居の際は個人負担。

借上住宅の住居費補助

居住者数 (教員本人および 同居家族)	補助基準額(家賃には共益費を含み、 駐車場利用料は含まない)		補助基準額(家賃には共益費を含み、 駐車場利用料は含まない)
	月額		年換算
1人(本人のみ)	家賃相当額(上限 60,000 円)		家賃相当額(上限 720,000 円)
3人まで	家賃相当額(上限 80,000 円)		家賃相当額(上限 960,000 円)
4人以上	家賃相当額(上限 100,000 円)		家賃相当額(上限 1,200,000 円)

※上記基準額を超える住居に居住する場合の超過金額は、個人負担(給与より引去り)です。
※家賃(共益費を含む)の5%を使用料として給与より引去ります。使用料は10,000円を下限とします。

- (2) 住宅手当(教授、准教授、特任講師、任期制教員対象、特別招聘教員は雇用契約書にて定める)

上記(1)借上住宅以外の各自が希望される物件に個人契約で入居する場合、もしくは持ち家の場合、住宅手当を支給します。

住宅手当(月額)

居住者数 (教員本人および 同居家族)	補助基準額 (家賃には共益費を含み、 駐車場利用料は含まない)		補助基準額 (家賃には共益費を含み、 駐車場利用料は含まない)
	月額		年換算
持ち家	40,000円		480,000 円
1 人 (本人のみ)	家賃相当額 (上限 60,000 円)		家賃相当額 (上限 720,000 円)
3 人まで	家賃相当額 (上限 80,000 円)		家賃相当額 (上限 960,000 円)
4 人以上	家賃相当額 (上限 100,000 円)		家賃相当額 (上限 1,200,000 円)

※敷金・礼金、その他諸経費については、個人負担となります。
※基本的に、持ち家は教員本人が所有していること、借家は第三者が所有していることを条件とします。
※借上住宅以外の物件をお探しの方のうち、日本語を解せない方には住居斡旋のサポートをさせていただきます。
(物件の情報提供、希望物件への見学の同行、賃貸契約締結、入居する物件の電気・ガス・水道手続のサポート)

(3)教育・養育費補助(教授、准教授、特任講師、任期制教員対象 ※特別招聘教員は、教育・養育費補助の対象者となりません。)
満25 歳未満の子をもつ教職員で、申請を行った者に対し、下記金額を支給します。

教育・養育費補助手当 (お子様一人あたりの金額)

種別 以下の学校等以外に在籍の場合、 手当対象となりません。	支給額 (月額)		支給額 (年換算)	
	私立	国公立	私立	国公立
保育所	5,000円	5,000円	60,000円	60,000円
幼稚園	10,000円	5,000円	120,000円	60,000円
小学校	10,000円	5,000円	120,000円	60,000円
中学校	20,000円	10,000円	240,000円	120,000円
高等学校	30,000円	15,000円	360,000円	180,000円
高等専修学校	30,000円	15,000円	360,000円	180,000円
高等専門学校・短期大学	40,000円	20,000円	480,000円	240,000円
大学	40,000円	20,000円	480,000円	240,000円
大学院	50,000円	25,000円	600,000円	300,000円

例) 私立大学1名と公立高校生1名のお子様がいいらっしゃる場合
→ 補助額:55,000 円(月額)660,000 円(年額) 所定の条件があります。

(4)その他生活基盤確保のための諸手続きのサポート
印鑑作成、市役所等での住民登録等 各種手続き、銀行口座開設のサポート

(5)社会保険への加入(健康保険、厚生年金保険、介護保険)

(6)健康管理・健康増進
① 定期健康診断、ストレスチェックの実施
② 人間ドック、がん検診の補助制度

(7)私学共済の福祉事業
① 貸付金制度 (一般貸付・住宅貸付・教育貸付・結婚貸付・災害貸付・医療貸付)
※教授・准教授・特任講師のうち、勤続1年以上の方のみ対象
② 積立貯金制度、共済年金、共済定期保険

(8)婚姻時
結婚手当金、結婚祝金

(9) 妊娠・出産時

- ① 産前産後休暇、育児休業、配偶者出産休暇、出生時育児休業制度あり
- ② 各種給付金（出産費・家族出産費、出産手当金、育児休業給付金）
- ③ 産前産後休暇、育児休業中の私学共済掛金免除

(10) 育児

- ① ベビーシッター利用補助
- ② 企業主導型ベビーシッター割引券
- ③ 祝日授業日の学内臨時託児所
- ④ 看護休暇制度あり

(11) 介護

- ① 介護休暇、介護休業制度あり。
- ② 介護休業給付金 *給付要件あり
- ③ ホームヘルパー利用補助

(12) 企業型確定拠出年金(教授/准教授/特任講師の希望者のみ)

(13) ベネフィットステーションが提供する選択型福利厚生サービス

全国の提携店舗やサービスで割引を受けられるサービス。
(旅行、エンターテインメント、グルメ、スポーツ、育児、介護、通信講座など、サービス数140万以上)

(14) その他私学共済の福利厚生事業

- ① レジャー、お買い物等の各種割引、スポーツ・宿泊等施設の割引

以上